

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">会 議</div> ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	令和5年6月26日
名 称	令和5年度 第1回安平町未来創生委員会		
日 時	令和5年6月16日 午前・ 午後 3時00分～5時00分		
場 所	総合庁舎 大会議室		
出席者	委員・外部有識者 12名 安 平 町 (政策推進課) 渡邊課長、山口参事、高橋主幹、笹山主査、主事吉田 (総務課情報G) 池田参事、塩月主査		
会議概要	<p>1 開会 (進行：渡邊政策推進課長) ◇過半数以上の参加により委員会が成立していることを宣言</p> <p>2 委員長挨拶 ◇本日は任期最後の会議であること。 ◇国が進めるデジタル田園都市国家構想に関する議事が予定されているので、様々な視点から意見を頂きたい。</p> <p>3 議事 (1) 第2次安平町総合計画後期基本計画の策定報告について 【資料1】</p> <p>・第2次安平町総合計画後期基本計画に対する意見について、町の考え方や計画変更内容を別添の資料に沿って説明。</p> <p>◇質疑応答要旨</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><委員> 5Pの地域コミュニティ地区別計画について、安平では地区別計画は完成したのか、計画は進んでいるのかお聞きしたい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><政策推進課> 安平町ホームページの協働のまちづくりというところから活動の内容を閲覧できるようになっている。現在協議会を立ち上げ計画を進めているところ。安平地区が先行で動き、遠浅地区も令和6年から開始予定。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><委員> 安平町環境行動計画はどのようなイメージになるのか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><政策推進課> 後期計画の中にも安平町ゼロカーボン宣言などを盛り込んでいて、順次策定していく予定。昨日、北海道大学 大学院地球環境科学研究所 ゼロカーボン北海道推進協議会座長の山中教授に職員研修を行っていただいた。2030年、2050年に向けた取組みを職員にもインプットしながら町民含めた町全体で進めていきたい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><委員> 鹿公園の森の保全や、太陽光パネルなども含めて景観を損ねないような内容も計画のなかに含めてほしい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><委員> 8P墓地環境整備事業について、早来と追分にある斎場を一つにして効率よく進めていきたいということでよいか。また具体的に何か決まっているのかお聞きしたい。</p> </div>		

<p><政策推進課> 具体的なものはまだ決まっていないが斎場は一つにするイメージ。細部については今年度から詰めていく予定。</p>
<p><政策推進課> 現在、公共施設の総合管理計画の見直しをしており今年度策定予定になっている。安平町行政改革プラン2022と財政計画と合わせながら検討していく。計画案ができた段階で協議を加速させていく。</p>
<p><委員> 追分高校について、むかわ高校では道に廃校にならないように要望活動を行ったと聞いた。安平町ではそのような要望活動などは行われているのか。</p>
<p><政策推進課> 要望活動は行っていないが、北海道教育委員会とは連携を行っていて、こちらの意図や意見は伝えられている。</p>
<p><委員> 町民センターの大規模改修について、大まかなスケジュールを教えてほしい。また近隣の市町村では総合体育館として、サークルなどの団体に所属していても、日替わりでスポーツが楽しめるようになっている。安平町ではできないのか。</p>
<p><政策推進課> 令和6年着手8年完成予定。内容としては災害時に対応できるような防災支援施設機能を町民センターに持たせるのが目的になっている。通常時には、合宿所などの機能を持たせて、平時にも使えるような施設にする。総合体育館のように、常時自由に使えるようにすることは難しいが、予約制で使えることを想定している。</p>
<p><委員> 安平町には町営の医療施設がない。町営の医療施設は赤字になることが多く、町の財政を圧迫するのでその点は良いことと思う。ただ課題として、現在安平町は支援として良好な医療体制を確保するための医療機関への支援として助成金を出しているが、長期的に維持していくためにはそれだけでは足りないと思う。継続させる一番のポイントは後継者だと思う。医療施設は民間でありながら、公共的な要素がある。後継者の問題や、医療についての問題を解決するためには、この会議で話すべきか他のところで話したらよいか教えてほしい。意見を集約し施策を早めに手を打つべきではないか。</p>
<p><政策推進課> 意見を伝える方法としては、いろんな角度からお願いしたい。ただ意見をダイレクトに伝えようとすると医療懇談会などで直接医療関係者から町長に伝えてもらった方が伝わる。</p>
<p><委員> 医療懇談会は情報交換会という形になり、意見が伝わっていないイメージがある。医療機関は急になくなると困るものなので、町にも対応をお願いしたい。話し合いの場を作り、方向性を決めていかなければならない時期に来ている。</p>
<p><政策推進課> 過疎の地域が拠点を持てるように、財源を積み立て式に確保することも考えるべきだという考えも出てきている。過疎地域共通で考えるべき課題なので、地域の医療の実態や制度なども踏まえて議論していきたい。重要な視点だと思うので、今回共有させていただいて次の課題解決に繋げていきたい。</p>
<p>(2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について【資料2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事業について資料2に沿って説明 <p>◇質疑応答なし</p>

(3) 安平町自治体DX推進計画の策定について 【資料3】

説明：総務課情報G

- ・安平町DX推進計画の概要【資料3-1】に沿って、安平町におけるDX推進の意義や目指すべき姿、デジタル技術を活用した取組みの詳細について説明。

◇質疑応答要旨

<委員>

DXとは国の計画に基づいて策定されているのか。

<総務課>

国の策定した方針に基づき、安平町のものとして策定する。正確な指針については、計画書の10ページに記載している。「自治体DXの重点取組み事項」「自治体DXの取組みとあわせて取り組むデジタル社会の実現に向けた取組み」「各団体において必要に応じ実施を検討する取組み」この3つの要素をどのようにしたら安平町で実現できるかを考えたものが計画書になる。

<委員>

そもそもデジタル化する必要はあるのか、以前から疑問に思っている。そういった意見はでているのか。

<総務課>

デジタル化について冷たいや人間味がないなどのイメージを持たれてしまうこともあるが、今回の計画書ではデジタル化を推進することで職員の業務効率を上げることで町民との対話の時間を増やすことがデジタル化のメリットになっている。サービス向上の時間を作る側面もある。

<委員>

デメリットについて検討や対策は行っているのか。

<総務課>

デメリット面として、導入経費のコストが大きくなることがあげられる。国の補助金を活用し、費用対効果を検討したうえで計画を進める必要がある。

<委員>

確かに金銭的なデメリットはあると思うが、スローライフや、デジタル化によって失われる風景などがあると思う。デジタル化社会に否定的な考えの人やデジタル化についていけない人もいる。そのような人たちの対応についてはどうお考えか。

<政策推進課>

デジタル化によって失われないように町の計画が作られている。全国で均一的に事業を行う場合地域の個性や、特徴が消えてしまう可能性がある。町の良さを残しながら、デジタル化を図り、足りないものを補うものと考えている。

<総務課>

使わない人を切り捨てるのではなく、住民票・印鑑証明書のコンビニ交付などは都市部の自治体では導入されていて、そういった都市部との格差を埋め、安平町の良さを残していけるように計画を進めていきたい。

<委員>

分野6「誰一人取り残されない取組み」と記載があるが、町民に押し付けるようなイメージがある。デジタル化について、自由に選べるように選択肢を設けた計画にするべきではないか。

<総務課>

計画は強制するものではない。便利になる反面失うものはあると思うので、強制するものではなく、情報格差を埋めるような、デジタル技術を使いたいが使えない方々がいる状況を改善する意図になっている。

<政策推進課>

今の意見を踏まえて安平町の良さを残しながらデジタルの恩恵を最大限に引き出す

といった文言を計画書に加えてはどうか。

<総務課>

その部分については策定時から意識していた。58ページにある誰もが暮らしやすい社会ということで、全てデジタル化しようと思っているわけではなく、デジタルとアナログの併用という書き方をしたが、便利な部分を引き出していきたい。

<総務課>

誰も取り残さない取組みの一例として、9月議会からパソコンやタブレットを持ち込み、データをみながら議会をすることが予定されている。議員の中には、電子機器を使われていない方もいるが、紙の持ち込みを許可しているので、どちらかを選べるような体制になっている。誰も取り残さない取組みというのは、デジタル、アナログどちらでも選択可能になるように考えているので、全てデジタル化することではないことを理解いただきたい。

<委員>

マイナンバーカードについて、病院で使ったが顔認証や保険証の紐づけの作業があり、今までより手間が増えた。そういうところからデジタル化の不安があると思うので利用しやすい環境を作っていただけたらと思う。

<委員>

DX計画は計画の推進に当たっては、デジタル化に係る作業量が多くなり、逆に職員の負担が大きくなると思う。メリットの部分を前面に出して意識を前向きに変えられるように方向性を合わせて計画を進行してほしい。

<政策推進課>

年々職員の作業量は増えていて、今やらないと住民サービスが低下する可能性がある。また、見えない作業を見える化することによって働き方改革にもつながるので、トライアンドエラーを繰り返しながら計画を進めていきたい。

<委員>

ラインワークスの導入とあるが、これだけではコミュニケーションが偏ってしまうと思うので、対面での対話も同様に大切にしてほしい。

<総務課>

デジタル技術はあくまで手段の一つなので、アナログなコミュニケーションも大切にしていきたい。

(4) 安平町デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定方針について【資料4】

- ・策定の趣旨や改訂にあたっての基本的事項のポイントなど資料4に沿って説明。

<委員>

オーガニックビレッジ宣言などが計画の策定の中に入るのか。

<政策推進課>

オーガニックなどの個別のものは、今後計画するにあたり、肉付けされていきオーガニックに関するページ数が追加されていくようなイメージ。

<委員>

デジタル部分とオーガニックビレッジの部分の両輪で考えなくては、具体化していかないと思うので、2つの柱で戦略を策定してほしい。デジタルはエネルギーが必要になり、エネルギー源は限られていて、うまくやらないと牛耳られてしまうと思う。

<政策推進課>

安平町の良さを失わないデジタル化の推進についてもこちらの策定方針にもいえる事だと思う。エネルギーについては、バイオ燃料などで、地域内でゼロカーボン達成する必要がある。自立した町の運営をするためには、お互いの良さを生かしつつ計画を進める必要がある。

<委員>

未来創生委員では、今まで作った総合戦略をデジタルの観点から今の計画を直していくという認識であっているのか。

<政策推進課>

その認識であっている。総合計画を基本としてデジタルはあくまでも手段で利用できるような技術を導入して安平町を便利にしていくイメージ。

<外部有識者>

デジタル化に45ページ以降にデジタル化の具体例が書いてあるが、町民の暮らしが良くなることを伝えることが大事。もっと具体的に利点をイメージできるとよいと思う。あくまで総合計画が下地にあることももっと伝えるべき。

<外部有識者>

DXについてはわからない価値観をぶつけられている感じがするので、あまり難しい情報を伝える必要はなく安平町の良さをデジタル素材で提供するなど新しいものを取り入れるのではなく、既存のものを利用することも大事だと思う。

4 その他

5 閉会 (17:00)

以上、終了。